

アカデミー賞8部門に

作品賞 監督賞 主演男優賞 脚色賞 作曲賞 美術賞 衣装デザイン賞 編集賞

ノミネートされた *The Elephant Man* 限りない感動が日本へ



エレファント・マン

ジョン・ハート アンソニー・ホプキンス/アン・バクロフト
サージョン・ギールガッド テーム・ウェンディ・ヒラー
東宝東和提供 米英合作 日本トルビー・ステレオ
監督 脚色 デビッド・リンチ 製作 ジョナサン・サンガー
音楽 ジョン・モリス 撮影 フレディ・フランシス 編集 アン・V・コーツ
美術 スチュアート・クレイグ 衣装 トリシア・ノリス



6月・全国一斉《感動》のロードショー

歌舞伎町コマ劇場隣り
新宿プラザ (200) 9141

エレファント・マン

「真実」は——語りつくせないドラマを創りあげた。

いま、世界中がこの作品を見つめている。

いま、一本の映画が全世界の熱い注目を集め、多くの人々の魂を限りない感動と涙でゆさぶっている。その映画こそ——「エレファント・マン」である。

世にも数奇な運命に生まれついた若者をめぐる人間精神の気高さと俗悪さ。この映画は《エレファント・マン（象人間）》と呼ばれ、19世紀末のイギリスに実在し、蔑視と飢餓と好奇にさらされ続けた生涯を送ったひとりの人間を描いた——《真実》のドラマである。

エレファント・マンがつきつける衝撃と感動は類を見ず、全米で公開されるや記録的な大ヒットとなり、本年度アカデミー賞でも作品、監督、主演男優など主要8部門で最有力候補としてノミネートされたほか、すでに数々の賞を獲得。また、イギリス、フランスでも現在絶賛のロングランを続けている。さらに、マスコミの反響もこれまでに大きく、この作品への賛辞はあとを絶たない。

81年、東宝東和は——映画史を画する「名作」を贈ります。

50年代「禁じられた遊び」、60年代「奇跡の人」、70年代「ピバノ! チャップリン」。東宝東和は人々の心に永遠に残る数々の名作を贈りつづけて53年の歴史を迎えます。そして81年——いまここに自信をもって、すべての人に「エレファント・マン」を捧げます。

人間の誇りと尊厳をうたいあげたこの作品は、「真実」だけがもつ深い感銘を、必ずや多くの人々の魂をゆりうごかすにちがいありません。



これほどの感動、これほどの衝撃——すべてのマスコミが、そのときふるえた。

- 「勇気と人間の尊厳」の物語を賛嘆する。
〈イブニング・ニュース〉
- 無情の時代に勝ち誇った精神。「おれは人間なんだ!」
すさまじいイメージである。
〈ナウ・マガジン〉
- 表情豊かな、まさにすばらしい演技。
〈タイム〉
- 驚くべきオリジナリティーを持つ映画だ。
〈フィルム・イラストレーテッド〉
- ひとりの人間と時代をめぐる、恐ろしいまでに迫真性に満ちたドラマ。
〈イブニング・スタンダード〉
- 困難きわまるテーマを真正面からとらえた、例のないシリアス・ドラマ。
〈バラエティ〉

- ジョン・ハートがみせた俳優の芸術の勝利。好奇から人間性へ、同情から賛嘆へと変貌してゆく感情がみごとに描かれている。
〈デイリー・テレグラフ〉
- 最もオリジナルな挑戦が創り出した名作中の名作。不屈の人間精神に対する感動的で高揚的なオマージュ。エレファント・マンは最も真実な意味で、本来の高貴な人物なのだ。〈デイリー・メール〉
- 心を奪われ、忘れ得ぬ体験だ。
〈デイリー・ミラー〉
- 良心を呼びさます映画だ。
〈サンデー・ピープル〉
- 見事に描かれた映画。真に非凡な映画である。〈オブザーバー〉
- ジョン・ハートの演技は、メリック＝エレファント・マンの本当の悲劇を伝えてくれる。映画を見たあと、いつまでもあなたの心に残るであろう。
〈サンデー・エクスプレス〉

- デビッド・リンチの演出は、あらゆる点からみて、第一流である。
〈サンデー・テレグラフ〉
- エレファント・マンのジョン・ハートは、メリックの悲惨さを再現している。
〈サンデー・ミラー〉
- 世にも痛ましいドラマ。目をみはる演出。ジョン・ハートは映画関係の賞を必ず獲得するだろう。〈タイムズ〉
- 《エレファント・マン》はその細いからだを威厳と穏やかさで包み、見るものは、輝くようなその精神に賛美をおくるのだ。
〈フィルム・レビュー〉
- ジョン・ハートは奇跡をなしとげた。グロテスクな表情のハートに、感動せずにはいられない。
〈イブニング・スタンダード〉
- 見て、感じ、考えさせ、いつまでも胸の奥に遺しておくくなる映画を見るのは何と心躍ることか! 「エレファント・マン」こそまさにその映画だ。
〈ロサンジェルス・タイムズ〉

本年度アカデミー賞8部門にノミネート!

作品賞・監督賞・主演男優賞・脚色賞・作曲賞
衣裳デザイン賞・編集賞・美術賞

その他、世界中の賞を受賞しました!



- 全米監督協会選出・優秀監督賞受賞
- 全米カソリック協議会推薦
- '80ゴールデン・アップル賞・男優賞受賞
- 第3回メディア賞・作品賞受賞
- 本年度クリストファー・青銅賞受賞
- 第25回コーク映画祭・特別賞受賞
- '81フランス・アポリアス映画祭
グランプリ、批評家特別賞受賞
- タイム誌選出ベストテン入選
- ピープル誌選出ベストテン入選
- ゴールデン・グローブ賞ノミネート
作品賞・男優主演賞・監督賞・脚色賞
- ロサンゼルス映画批評家賞ノミネート
男優主演賞・撮影賞